

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0303	政策名	生涯学習の推進	施策主管課	生涯学習課	課長名	佐々木 正晴
政策の目指す姿	自主的な生涯学習活動を活発に行っています						
施策No	03	施策名	国際都市の推進	関係課名	大迫地域振興課		
施策の目指す姿	世界に目を向け、様々な地域の文化や風土を受け入れ、交流しています						
現状と課題							
<ul style="list-style-type: none"> ・定住外国人のための日本語講座や日本文化体験講座等の開催要望があります。 ・国際交流事業については、交流している人たちの高齢化や固定化が見られ、新たな参加者が少なくなっています。 ・国際交流に関心のある市民の割合が、H27年に34.8%(市民アンケート)となっています。 ・これまで行われていた市民の団体と国内友好都市との交流が、少なくなっています。 							

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・H29年度、H30年度に引き続き、定住外国人の支援のため、外国人生活支援ボランティア養成講座を開講し、定住外国人支援に関心のある市民の発掘と、日本語学習ボランティアグループへの勧誘を図る。 ・日本語教師資格保持者や、元教員等、日本語学習支援適任者を広報紙やHPを通じて協力を求め、教育現場や外国人労働者受け入れ企業などからの要請に対応していく。
反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度も、日本語学習支援ボランティア入門講座を開催し、日本語ボランティアへの関心が高まり、ボランティア登録者数が増加した。 ・市内小中学校における外国語児童生徒等の支援へとつなげるため、日本語学習支援適任者の発掘に努めた結果、日本語講座の受講が増加し、市内小中学校からの支援要請に応えることができた。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1) 国際理解の情勢 国際理解事業についての積極的なPRとして、国際フェアのPRをSNSやマスメディアを通じて行った。</p> <p>(2) 国際都市化に向けた環境づくり 日本語講座など定住外国人支援の推進のため、昨年度に引き続き日本語学校支援ボランティア入門講座を開催した。多言語による市の情報発信を、英語・中国語・韓国語のフェイスブック、コミュニティFMラジオの外国語インフォメーションを通じて行った。</p> <p>(3) 国際交流の推進 姉妹都市等との交流を、本市中高校生の海外姉妹都市等への派遣や、海外姉妹都市等からの中高校生等訪問者の受け入れにより実施した。</p> <p>(4) 国内交流の活性化 国内友好都市に関する情報発信のため、会報を年4回発行し、会員の団体や市内各所へ配布するとともにHPに掲載した。</p>

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
海外の姉妹、友好関係都市との交流など国際交流に関心がある市民の割合	年代を問わず多くの市民が、姉妹・友好都市との交流を含む国際交流に関心を持っている割合を示す指標	出典：市民アンケート 問：あなたは、海外の姉妹・友好都市との交流など国際交流に関心がありますか？(1)関心がある(2)どちらかという関心がある(3)関心がない(4)どちらともいえない(1)(2)と答えた市民の割合	%	目標値 実績値		35.00 36.60	35.50 37.30	36.00 35.60		
国際交流事業参加者数	市民が世界に目を向け、様々な地域の文化や風土を受け入れ、交流している状況を示す指標	各種講座やイベント、海外からの受け入れ事業参加者及び姉妹都市等への派遣事業参加者の総人数	人	目標値 実績値		4,200.00 4,939.00	4,500.00 4,256.00	4,800.00 4,577.00		
国内友好都市交流事業参加者数	国内友好都市との交流活動の状況を示す指標	出展：花巻市友好都市交流委員会算出：委員会を構成する各種関係団体における、友好都市の平塚市、十和田市との交流事業に参加した人数(訪問した人数及び受け入れ人数の合計)	人	目標値 実績値		430.00 349.00	440.00 359.00	450.00 406.00		

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>成果指標「海外の姉妹・友好・友好関係都市との交流に関心のある市民の割合」・・・【達成度 b】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外の姉妹都市等と本市市民との交流状況等を市の広報・ホームページ等を通じて発信する回数を増やし、一定数関心を持ってもらうことができたと思料される。 <p>成果指標「国際交流事業参加者数」・・・【達成度 b】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流活動団体・サークルのなはんプラザを含む国際交流センター利用回数の減少がみられるが、インターネット環境の普及等により、個々の学習環境が整ってきていること等が要因として挙げられる。 ・国際交流イベントのPRのため、SNSやテレビ・FMラジオ等に出演する機会を活用し、イベント周知を図った。 <p>成果指標「国内友好都市交流事業参加者数」・・・【達成度 b】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内友好都市との交流事業が、周年記念事業がある年に集中している。今年度は平塚市35周年、十和田市30周年の年にあたり平塚市からの周年訪問ツアー及び十和田市からの周年記念ツアーを実施した結果、参加者数が増加した。

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に予定している、ベルンドルフ市との友好都市締結55周年記念事業は、新型コロナウイルスの影響により中止することとなったが、ベルンドルフ市側から令和3年度に改めて記念式典を開催したいとの要望があり、令和3年度の開催に向け、周年記念事業の周知などを行い、国際交流への理解促進を図る。
新たに取り組むべき事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> ・ベルンドルフ市との友好都市締結55周年を記念する周年事業の実施（新型コロナウイルスの影響により次年度に延期） ・近年の技能実習生等の定住外国人の急増に伴い、定住外国人への支援事業を国際交流協会と連携のうえ実施し、コミュニケーション支援、日本語講座等の実施について周知に努め、さらなる参加者の増加に努める。 ・定住外国人や外国人観光客の増加に対応するため、言語や文化理解の促進を図るため、多文化共生理解のための指針等の策定に向けた検討が必要となっている。

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・在留資格の拡大などにより、花巻市に停留・定住する外国人の数が急増している。日本語学習を支援するボランティアが不足していることから、定住外国人の日本語学習を支える人材を確保し、養成する必要がある。 ・定住外国人や外国人観光客の増加に対応した言語や文化理解の促進を図るため、岩手県や県内他市の例を参考にしながら、多文化共生理解のための指針等の策定に向けた検討が必要となっている。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・定住外国人支援のための外国人生活支援ボランティア養成講座を開設し、外国人支援に関心のある市民の発掘と、日本語学習ボランティアグループへ国際交流協会が行っている国際理解推進事業（多文化サロン、市民語学講座等）の参加者への案内などを行うことによりさらなる勧誘を推し進める。 ・岩手県や県内他市の例を参考とし、多文化共生のための指針策定に向けて、市内の外国人定住者や関係団体から地域における現状や課題について聞き取りを行うなど、検討を図る。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
070	国際都市推進事業費	国際交流	一致	直結	A
	国際都市推進員による海外への情報発信、公益財団法人国際交流協会を支援				
			A		
080	国際姉妹都市等交流推進事業費	国際交流	間接・少数	直結	C
	国際交流協会が行う青少年海外派遣研修事業等を支援(派遣・受入れ人数83名)				
			B		
090	国内友好都市交流推進事業費	国際交流	一致	直結	B
	少年少女交流キャンプ等を実施。平塚市・十和田市への市民ツアーの実施など(交流事業29回)、事業参加人数406人)				
			A		
222	国際姉妹都市等交流推進事業	地域振興課	間接・少数	直結	C
	大迫高校生を海外友好都市へ派遣(3名)				
			B		